

学校教育目標「楽しい学校」 ・ 確かな学び ・ 豊かな心 ・ すこやかな体
重点目標「つなげて話そう」

学校だより
1月号

あ さ ひ こ 朝 日 子

令和4年1月6日発行

いとうしりつにししょうがっこう
伊東市立西小学校



「大切に」という思い

校長 小形 丈晴

明けましておめでとうございます。

昨年、流行語年間大賞に選ばれた「リアル二刀流」。この言葉は、大リーグの大谷翔平選手の投打にわたる大活躍を象徴したものでした。

大谷選手のすごいところは、投打の実績のみならず、その人間力にあると思います。同僚やファンにはもちろん、周りのすべての人々に対しての気遣いが自然で、思いやりに満ち溢れていました。

西小学校では、学校教育目標「楽しい学校」をめざして、多くのことに取り組んできています。その中で、子どもたち主体の児童会では、児童会目標を「明るい笑顔で『あいさつ』『ふわふわ言葉』と定め、この目標が達成されれば、みんなにとって「楽しい学校」になると、多くの活動を考え実践してきています。

「あいさつ」が広がるように、児童玄関に児童会本部役員が立ち、積極的に声をかけることはもちろん、「あいさつビンゴカード」や「あいさスタンプラリー」を計画し、全校に呼びかけました。

また、お互いを呼び合うときに、呼び捨てやあだ名ではなく、「さん付け」をしっかりとできるように、「さん付けビンゴ」を企画したり、「さん付けビデオ」を制作し、校内放送で流したりしました。

さらに、「あいさつしたら〇〇」（例えば、『あいさつしたら、指ハート』『あいさつしたら、じゃんけん』等）の実行を呼びかけたり、「あいさつ塗り絵」（1日1個自分の目標を決め、それができたらマスを塗っていく）を行ったりしました。

また、思いやりの言葉となる「ふわふわ言葉」を広めようと、全校に「ふわふわ言葉にはどんなものがあるだろうか」と投げかけ、「ふわふわ言葉辞典」を作成し、掲示していきました。

他にも、図工展示会の際「〇〇がよかった」と付箋を貼っていたり「ふわふわマスター」を選出したり、学校中に思いやりや優しさが溢れるような取組が続いています。



児童会がイベントを実施している期間には、校内に明るい「あいさつ」の声が満ち溢れ「ふわふわ言葉」も多く行き交っています。しかし、イベントがなくても「どうしたら、あいさつ・ふわふわ言葉が当たり前にできるようになるだろうか」と、子どもたちの中から、今後の課題があがってきています。

3学期・第5ステージのスローガンは「感謝」です。子どもたち一人一人が、どんなときでも相手のことを大切に思い、その思いを伝え合っていければと思います。そのために私たち教職員はもちろん、家庭や地域の方々の協力も得ながら、子どもたちの育ちを支援していきたいと思っています。

令和3年度 第31回伊東市善行賞受賞者の紹介



個人賞として、6年生、長田蒼空さん、牧野日向さん、猪狩心優さん、松本来桜さん、5年生、三ツ谷日菜里さん、青木柚花さん、泉田愛華さん、太田愛翔さん、水野真緒さん、森田湊音さん、山本凌久さん、鈴木翼さんが選ばれました。また、団体賞として、ボーイスカウト伊東第5団の、稲葉早羽さん・夕陽さん、鈴木理子さん・貫太さん・稀子さん、長島美澄さん・遙汰さん、中野太惺さん、山田蒼弥さん、杉村博樹さん、道本朔太郎さんが選ばれました。

紙面の都合により、すべての内容を掲載することができないのが残念ですが、例えば、第5団の私たちは、熱海市伊豆山土砂災害支援のための募金活動を行い、総額23万30円を市社会福祉協議会に届けたことが評価されました。